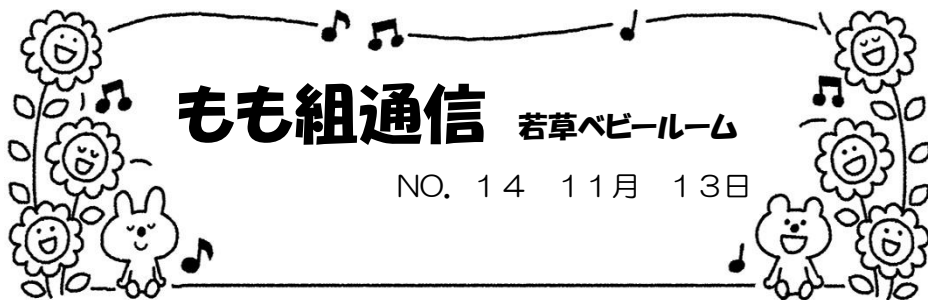




造形展号
No. 1



秋を見つけたよ！

冷たい風に負けないくらい元気いっぱい散歩や戸外遊びを楽しんでいます。散歩に出ると、「お外、きもちいい！」「幼稚園バス、見えた！」といろいろな発見があり、友達の発見と一緒に喜ぶ声も聞こえてきます。

そんな中で幼稚園の園庭やクローバーの丘では、葉っぱや、松ぼっくりなどを見つけて喜ぶ子どもたち。「あった！」「みてー！」と言いながらたくさんのお土産をベビールームに持ち帰ってきました。



葉っぱで遊ぼう！

もも組の子どもたちが散歩をする中で集めたり、運転者さんが園庭を履いてくれた際に集まった葉っぱをもらって遊びました。まずは、大きなかごから自分の箱に葉っぱを入れ始める子どもたち。かごの中には、色々な色や大小様々な形の葉っぱや、南天の実などがあります。「見てー、パリパリー（葉っぱが割れたよ）」と、葉っぱが割れる時にパリッと鳴ることに気づき、音を楽しむ子どもの姿が見られました。また、茶色の葉っぱだけを探して集めたり、大きく手を広げてつかめるだけの葉っぱをつかみ、箱に入れて、かごに戻して…を繰り返したりと楽しみ方は子どもそれぞれでした。

その後は、楽しんだ葉っぱをパネルに張り付けていきました。南天の実を枝から外して一つ一つ丁寧に貼りつけたり、同じ葉っぱを何度も使って貼って剥がしてを繰り返し小さくなっていったり…出来上がったパネルには子どもたちの個性が表れていました。パネルに貼ることがとても楽しかったようで、「もっと！」「もっかい（もう一回）！」と葉っぱのおかわりの声が止まらない子どもたちでした。たくさんの葉っぱに触れる中で、色の違いを見つけたり、匂いがあることに気付いたりして、葉っぱの面白さを感じているようでした。

